

DXに関するこれまでの取り組み

代表からのメッセージ

昨今の環境変化においては人口減少に対応しながらも、物価上昇への対応、従業者所得水準の引上げが企業に求められています。弊社はコロナによる業務の遠隔化をきっかけに在宅ワークなどを導入しDX化に取り組んでまいりました。しかし、システムの老朽化やIT人材の育成・確保、環境の変化により柔軟かつ迅速に対応する必要が出てきましたので、組織や経営に残る課題をDXや仕組み化によって改善・改革できる余地がまだまだ大きいと考えております。

当社は「**2025年デジタル化計画**」として「生産性向上戦略」及び「顧客満足度向上」の一環として「DXの推進」を掲げています。この方針に基づきデータ集約と活用のためのAI展開やBIツール、セルフPOSなどの省力化装置を活用し、成果を最大化しながら企業価値と存在意義を高めていきます。また営業・会計・人事データを組み合わせたデータ分析や、RPAを活用した業務自動化、さらにコミュニケーションツールや生成AIの活用による業務効率の向上を進めています。

共和観光株式会社 代表取締役 江本 日東

当社の現状と課題

現状

基幹システム導入・クラウド化・グループウェア導入を通じ一定の業務標準化と効率化による成果は上げられている。

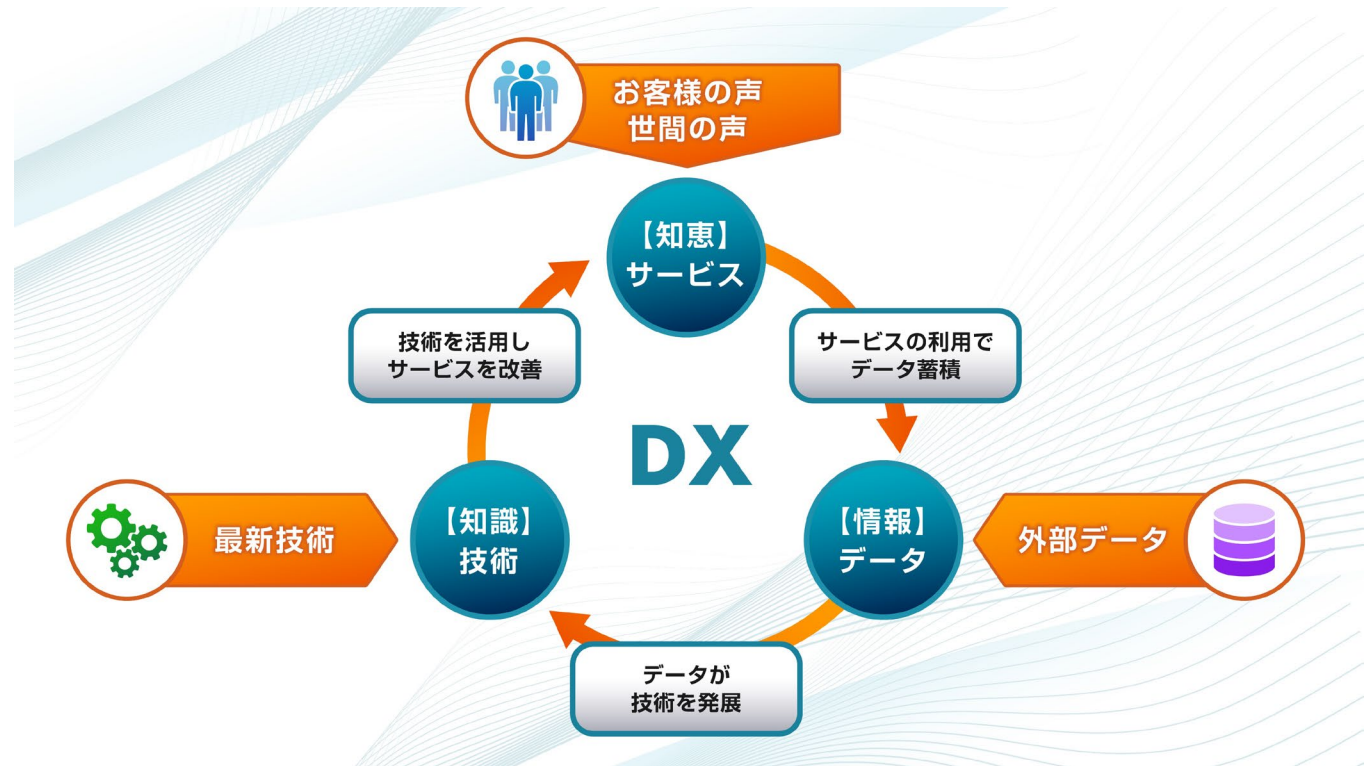
課題

人口減少対応や日々発展を続けるITを最大限活用するためには常習的な新機能活用、業務との融合を利用各所で永続的に行える習慣を整える必要がある。
またその過程で生み出されるデータを可視化し更なる活用につなげる事が企業ミッションを達成する為に重要な要素であるため推進していく必要がある。

デジタル化による効率的な循環

業務プロセスの改善やデジタル化によって効率を高め、データ分析を活用しながら、経営方針の検討等のより意義のある業務に時間を割くことで、顧客にとっての価値を高め、収益性を向上させます。

また、これをDXへの投資やさらなるデジタル化推進につなげることで、より良い循環を生み出していきます。

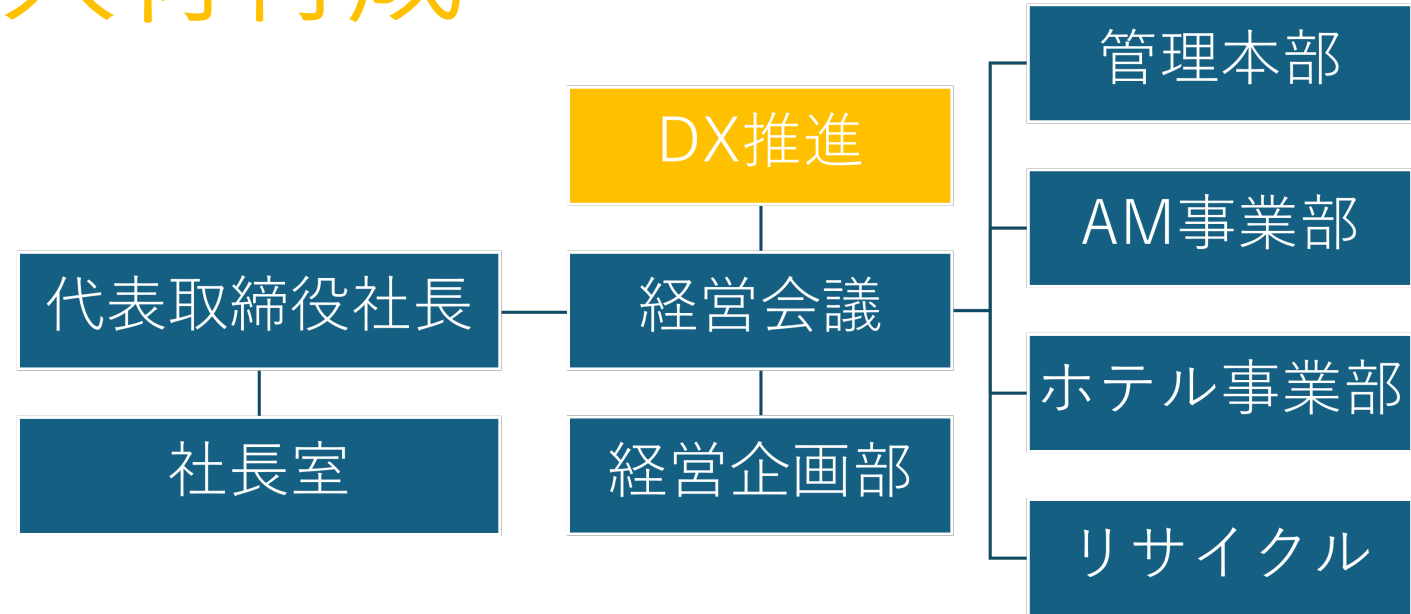


具体的施策と目標値の設定

課題解決に向けて、以下のテーマを主な取り組み目標（3ヵ年）とし、
毎期、評価見直し、次のアクションに繋げていく。

概要	具体的施策	目標値
ペーパーレス化による工数削減	①申請書の電子化 ②マニュアル、規定の電子化	書類棚削減 10% クラウド化推進 30%
生成AIの活用	copilotの内勤業務活用	
既存ソフトの新機能活用	新Version機能の活用推進	
データ化・集計情報の活用	データ化による新視点の創出	自動化/業務改革 10%
DX人材の育成、環境整備	①DX推進チームの理解度向上 ②要DX活用者のDXリテラシー推進	IT関連資格取得促進 DX関連研修受講促進
デジタルガバナンス、 セキュリティ強化	デジタル変革におけるリスクの啓蒙、 対応の規定化	

DX推進体制と人材育成



『DX推進』

- ・ 経営会議メンバー（取締役等）
- ・ DX推進チーム（各部より約1名ずつ選任）

※定期進捗確認

4半期毎の進捗や課題協議、次期の計画等を行う。

セキュリティ方針

情報セキュリティポリシー



本基本方針は情報資産の保護を最優先とし、リスクを排除し事業を安定的に継続させることを目的として、適切な対策を講じることを目指す基本方針を示したものです。

1. 役員および全ての従業員は、情報資産の重要性を認識し、適切な予防を行い、情報資産の脅威が発生しないよう適切な備えに努めます。
2. 何らかの脅威が及んだ場合、迅速な原因究明・被害の最小化に努めます。
3. リスク評価を定期的に行い、改善を実施します。
4. 関連する法規制、社内規定を遵守させ、セキュリティポリシーに違反した場合、社内賞罰規定に基づき罰則を課します。